



三角町小中連携授業研究会 ～ 今年も青海小で実施 ～

前途洋々

三角町内の学校（宇城市それぞれの旧町単位もですが）では、毎年、児童・生徒の学力向上のために、授業改善のための方策を具体的に出し合う場として、また、意見交換の場として標記授業研究会を持ち回りで実施しています。今年も青海小が会場となり、3年と6年で授業を公開しました。教科は国語で、本校の研究テーマである「読むこと」に焦点をあてて実施しました。どちらの学年も長い物語を扱う単元で、登場人物の心情を、文章中の「ことば」を通して想像し、読み取っていきまし

た。（3年は「サーカスのライオン」6年は「模型のまち」というお話です。どちらも面白いお話ですので、可能ならぜひ読んでみてください）子供たちは、しっかり考え、たくさん発表しました。



すてきなスクール・マスコットを作りたい！ ～企画運営委員会の取組『～

本校には古くからの伝統がたくさんあります。でも・・・スクール・マスコットがない！ということに赴任当初からやや物足りなさを感じていました。そこで！いろいろな場合に使える（学習や印刷物その他）スクール・マスコットの制作を、企画運営委員会の過福先生が中心となって、全児童を巻き込む形で計画してくれました！委員会がその説明を、9月10日（火）の「のびっ子集会」でしてくれました。完成までの概要は・・・まず、「青海小といえば・・・？」という質問に対し、全児童から回答を募ります。このとき、タブレットの「Google フォーム」を使って回答を集計し、AIテキストマイニングにて、最も多かったイメージを可視化します。こうして、キャラクターのモチーフを決めます。これを受けて、委員会でマスコットの性格を決め、図柄の案を数種類準備し、全校児童で投票にかけます。いかかでしょう。私はとてもワクワクしています。このマスコットが、これから子供たちと二人三脚で青海小の歴史に華を添えてくれたらこんなにうれしいことはありません。途中経過は随時お知らせしていきますので、どんなアイデアが出てくるか、どうぞ楽しみにしてくださいね！（写真：ロアツくんなどの例を使いながら、計画の趣旨を説明する企画運営委員会のメンバー）



三角中 2年生の職場体験②あいさつと打合せ

9月10日（火）、以前お知らせした6名の中学生が本校で職場体験をするために、あいさつと打合せに来てくれました。6人が1人ずつ、それぞれの学年に入って活動します。少々緊張していたようですが、教務主任の井上先生と、詳細に打合せを行いました。私からも話をしたのですが、先生に相談しながら積極的に子供たちとコミュニケーションを取り、どんどん動いてほしいということをお願いしました。6人とも、とても明るくさわやかな中学生です。質問もどんどん出ましたし、真剣な様子にとっても感心しました。子どもたちの成長はめざましく、心も体も、ほんの1・2年で一回りも二回りも大きくなります。2日間だけの体験ですが、いつもと違う経験をたくさんしてくれたらうれしいです。（写真：児童会室にて打合せ中の中学生。とても真剣です！）

